

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 658 号

2016年4月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

中国金属業界の過剰能力 鉄鋼改革は進むか

中国の金属業界の設備過剰問題の行方が、世界の経済界から注目されている。主力産業の鉄鋼業は、生産能力が12億トンを超えるとされており、設備稼働率が70%と伝えられることから実生産量は8億トン台と推察され、このうち1億トン以上を輸出する。

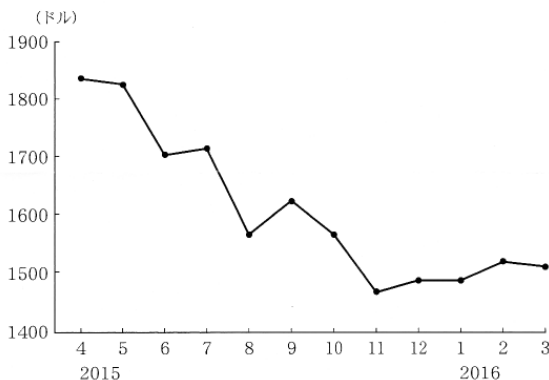
1億トンは日本、あるいは全欧州の生産量にほぼ匹敵し、世界に通商摩擦を起こしている。

中国国務院（内閣に相当する）も放置できず、早急に生産能力を1億5千万トン削減し、生産を1億トン減少させ、陥没市況から脱却しようとする方策を打ち出した。しかし企業形態が中央政府系企業、地方政府

系企業、民間企業と属性が複雑で、この政策の実効性は、労働問題や地方経済の問題を抱えて前途は決して楽観が出来ない。

アルミニウム新地金の製錬能力に関しては、2015年末に4千万トンにまで拡大して世界総生産能力の実に70%に達したと伝えられている。過剰生産と過剰生産能力の問題はアルミニウム新地金に留まらず金属シリコンやマグネシウムにも同様の傾向が伝えられており、鉄鋼業にこのほど政府が発した大整理計画が順調に進行して中国国内市況と国際市況へ好影響が及ぶかどうか、中国政府の指導力が試される。

アルミニウム LME 3ヶ月先物月央相場



アルミニウム地金相場の国際指標となるロンドン金属取引所（LME）の3ヶ月先物の月央相場を左掲した。

エネルギー相場と同一歩調で一本調子で下落した相場は、11月に大底を打って上昇に転じた。

原価割れで多くの工場が生産の減少や停止をしており、需給が改善してきたるしで、今後はゆるやかに上昇して採算点へ向うものと考えられる。

連休の
ご案内

ゴールデンウィークは、下記のように連休といたします。あらかじめご案内を申し上げます。

4月29日(金)～5月5日(木)

2015年ダイカスト生産

2.5%の減少

経済産業省機械統計による2015年（1月～12月）のダイカスト生産量（確報）は、前年比2.5%減少の975,680トンで、生産額は0.5%減少の5,399億2千万円となった。

全生産量に占める自動車向けの比率は、過去上昇を続けてきたが、2015年は前年の88.06%に対して88.04%と微減に転じた。

一方、專業量と内製量の比較では、專業量に比較して内製量の減少幅が大きく、内製率は0.7ポイント低下して31.9%となった。

材料別では、主力のアルミニウムが2.3%減少、内製率は0.7ポイント低下の31.8%となった。注目されるのは、その他向けが2.2%増と唯一前年を上回り2年連続のプラスで、建築向けなど今後に期待される。

亜鉛は3.3%減少、内製率は1.2ポイント減少の41.3%、自動車向けは7.1%と大幅に減少した。亜鉛は近年自動車とその他向けの生産比率が次第に接近しつつある。

2015年ダイカスト生産

(トン・カッコ内前年比%)

①アルミニウム	951,713	(97.7)
② 一般機械	28,206	(96.9)
③ 電気機械	17,453	(98.4)
④ 自動車	847,978	(97.6)
⑤ 二輪車	27,191	(95.1)
⑥ その他	30,887	(102.2)
⑦亜鉛	20,358	(96.7)
⑧ 自動車	10,996	(92.9)
⑨ その他	9,363	(101.7)
⑩マグネ等	3,609	(78.6)
⑪総合計	975,680	(97.5)
⑫うち自動車	858,974	(97.5)

4月6～8日

第3回 高機能金属展 東京ビッグサイトで開催

金属材料に特化した見本市「高機能金属展」（メタル・ジャパン）は一昨年、リード・エグジビション・ジャパン株式会社の主催で第1回が開催された。

本年は「第3回高機能金属展」として、4月6日から8日まで東京ビッグサイトで開催される運びになった。アルミニウム、銅、特殊鋼からレア・メタルに至る幅広い分野の関連企業180社が出展して自動車産業や電子機器産業を支える最先端の金属技術が一堂に集まって展示される。

昨年の来場者数は70,000名と伝えられ、本年も昨年以上の来場者が期待されている。併催される専門技術セミナーとして、アルミニウム関係では右掲の5セミナーが予定されている。

いずれも最新の技術情報が発表されるものと期待が寄せられている。

4月6日14時～14時40分

航空機・鉄道車両・船舶用アルミニウム材料
株UACJ 技術開発研究所 副所長
戸次 洋一郎氏

4月7日15時～15時40分

アルミニウムによる自動車軽量化技術
株神戸製鋼所 アルミ銅事業部門
アルミ自動車材営業部 市場開拓Gr 次長
櫻井 健夫氏

16時～16時40分

特殊用途用アルミニウム材料
日本軽金属株 日経新潟株 近藤 琢年氏

4月8日13時～13時40分

リサイクル技術を含めた飲料缶用アルミニウム材料
三菱アルミニウム株 研究開発部 商品開発室
原田 俊宏氏

14時～14時40分

電気・電子用アルミニウム材料
昭和電工株 小山事業所 技術統括部
基盤技術グループ 天谷 義則氏

❖❖❖❖❖❖ 新 入 社 員 着 任 ❖❖❖❖❖❖

3月21日新入社員
 の入社式を行った。写
 真は天野卓社長と
 徳田 遙^{はるか}さん
 朝礼時に全社員に紹
 介のあと会議室で、
 ・役員の紹介
 ・天野卓社長の挨拶
 ・工場案内・部署説明
 ・スケジュール説明
 (3月29日)安全衛生
 教育
 (3月30日)健康診断
 (4月14日)新入社員
 研修講座
 など行事がぎっしり。



大口電力需要低迷
 2月0.6%減少

電気事業連合会が3月18日発表した2月の電力需要実績(速報)によると、工場向けの「産業用大口電力」は前年同月比0.6%減の202億6900万キロワット時だった。

この数字は22ヶ月連続で前年同月を下回り、前年同月実績割れの過去最長を更新した。海外経済の低迷を受け国内の生産活動の低迷を示している。

18ヶ月連続で前年同月実績割れとなった鉄鋼(5.4%減)をはじめ、5業種が前年に届かなかったが、化学と非鉄金属はプラスとなった。

家庭用などを含む全体の電力需要は前年同月比1.7%減の728億9300万キロワット時と、10ヶ月連続でマイナスだった。

「産業用大口電力」の消費の低迷は、日本の産業活動の停滞を意味しており、日本経済の将来図を根本的に見直す必要がある。

春の全国交通安全運動
 4月6日(水)～4月15日(金)

目 的

新年度を迎えます。この時期は不慣れた交通環境で通学・通勤が始まり、交通事故が心配される時期です。

また、気候も良くなり、高齢者が朝夕の散歩などで外出する機会が増し、交通事故の発生が心配される時期でもあります。

一方、歓送迎会やお花見で飲酒の機会が多い時期で飲酒事故も心配されます。そこで下記のような安全運動を展開します。

運動重点

○子供と高齢者を交通事故から守ろう。

スローガン

ストップ・ザ・交通事故/広めよう交通安全
 スリーS (ストップ・スロー・スマート)

西尾桜まつり

4月2日(土) 〈歴史公園〉
 サクラ・ハナイチ コスプレまつり
 〈みどり川桜並木〉
 金魚つかみどり 鶴城丘高校と名古屋
 市立工業高校音楽部演奏会 抹茶接待
 4月3日(日) 〈本町通り〉
 酒蔵めぐり フラメンコ 阿波踊り
 〈みどり川桜並木〉
 うなぎつかみどり コスプレまつり



社内情報

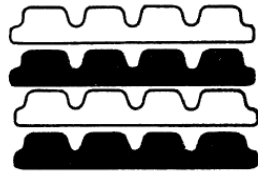
- ◎1月に愛知製鋼知多工場で発生した爆発事故の影響で、2月上中旬にトヨタ自動車とその関連企業の生産一時ストップあるいはスローダウンがありました。
- ◎多少の混乱はありましたが、3月に入ってほぼ平常に落ち着きました。
- ◎一工場の事故の影響が意外に大きい波紋を残すという教訓になりました。

編集後記

- ☐3月22日ベルギーのブリュッセルで爆発テロがあり多くの死傷者が出ました。平和に暮らす日本人には理解も想像もできないことです。
- ☐不安や心配のない「安心世界」の実現を望みます。
- ☐ゴールデン・ウィークの連休を1ページのご案内のように実施いたします。よろしくご協力をいただきますようお願い申し上げます。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
 愛知県西尾市中畑町卯新田上28
 TEL <0563> 77-0500(代)
 FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>